

第34回Uホールコンサート

万葉びとの春と死者の書

2023年3月21日(祝・火)

開場13:15 開演14:00

会場 浜松市勤労会館Uホール

(全席自由) 入場料 2,500円

第1部
講演 万葉びとの春
國學院大學教授 上野 誠



第2部
語りと音楽『死者の書』(初演)

奈良・當麻寺近くの二上山

原作 折口信夫 構成台本 中村 誠

滋賀津彦 (大津皇子)	テノール 高田正人
郎女	ソプラノ 田上知穂
大伯皇女	メゾソプラノ 酒井あやの
語り	吉村みどり
フルート	篠田 文
ピアノ	田中恵子

作曲 魚路恭子



高田正人



田上知穂



酒井あやの



吉村みどり



篠田 文



田中恵子

主催 浜松市勤労福祉協会・三幸共同事業体

後援 浜松市 浜松市教育委員会 (公財) 浜松市文化振興財団 静岡新聞社・静岡放送 中日新聞社東海本社
國學院大學院友会西部支部 FM Haro! K-mix

チケット取扱 アクトシティチケットセンター (店頭販売のみ)・HCF オンラインショップ 勤労会館Uホール 053-474-3771

一般発売 11月13(日)、アクトシティ浜松友の会 先行発売 11月6(日)

開催時の状況によって、感染症対策は確実にとらせていただきます。

「万葉びとの春」上野先生は、奈良大学において 29 年、研究と教育に没頭なされ、多くの業績を積み重ねられた。先生のホームページ「上野誠の万葉エッセイ」を開くと、膨大な著書群にまず驚かされる。万葉のふるさと奈良の地を涉獵された上での学問は、学会で高く評価されているとともに、文筆家としても著名である。現在は國學院大學の教授。「万葉集」の全注釈にも、取り組んでおられると聞く。このたび、このようなご縁を得たことを、皆さまとともに喜びたい。

語りと音楽『死者の書』近代文学の金字塔とされる『死者の書』は、難解さゆえか、多くの人が敬遠してきたように思う。本公演では、それをできる限り和らげ、実力ある出演者によって、皆様のおこころに届くよう配意したつもりである。作曲は、日本音楽コンクール1位はじめ、多くの受賞歴に輝く魚路恭子さまに委嘱した。

このイベントは、画期的なものになるとの予感がある。 皆みなさまのご来場をお待ちしています。

プロフィール

上野 誠

1960 年、福岡県生まれ。國學院大學大学院文学研究科博士課程満期退学。博士（文学）。國學院大學教授（特別専任）。奈良大学名誉教授。第 12 回日本民俗学会研究奨励賞、第 15 回上代文学学会賞、第 7 回角川財団学芸賞、第 12 回立命館白川静記念東洋文字文化賞、第 68 回日本エッセイスト・クラブ賞受賞。万葉文化論の立場から、歴史学・民俗学・考古学などの研究を応用した『万葉集』の新しい読み方を提案。

高田 正人（テノール）

東京芸術大学、同大学院修了。二期会オペラ研修所修了（優秀賞）。イタリア政府給費生、国際ロータリー財団奨学生としてイタリア・ピアチェンツァ国立音楽院で、また文化庁在外研修員としてニューヨークで研鑽を積む。東京二期会 60 周年記念『こうもり』を始め、宮本亜門演出『椿姫』、小澤征爾音楽塾『カルメン』、等数多くのオペラに出演。NHK『ラジオ深夜便』や、NHK大河ドラマ『西郷どん』での歌唱指導など、メディアでも活躍。洗足学園音楽大学客員教授。昭和音楽大学講師。二期会会員。

田上 知穂（ソプラノ）

国立音楽大学声楽科卒業、桐朋学園大学研究科修了、二期会オペラ研修所第 45 期マスタークラス修了、修了時に優秀賞受賞。G.ニコリーニ国立音楽院修士課程を最高点で修了し帰国。第 17 回奏楽堂日本歌曲コンクール入選、G.ボッジ国際コンクール一位受賞。オペラでは二期会公演「メリー・ウィドー」「ジュリアス・シーザー」新国立劇場「オルフェオ」錦織健オペラプロデュース「愛の妙薬」等、また宗教曲のソリストとしても数多く出演している。二期会会員。

酒井 あやの（メゾソプラノ）

国立音楽大学大学院音楽研究科日本歌曲専攻修了。第 17 回西日本協会賞および西日本新聞社賞を受賞。文化庁芸術家国内研修員終了。現代作曲家の創作歌曲の初演を数多く手掛ける。また「現音演奏家シリーズ XXII」でのリサイタルをはじめとするコンサートや、オペラ、オラトリオ等に出演する。日本歌曲振興波の会会員。アンサンブル・ムジーク浜松女性合唱団団員。

吉村 みどり（語り）

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。クラシックの演奏活動を行っていたが、1992 年からシャンソンの弾き語りコンサートも始め、2008 年、勤労会館 U ホールに於いて『吉村みどり シャンソン・リサイタル』を開催。それ以来、シャンソンの指導、コンサート活動を続けている。2015 年、渋谷 Bunkamura オーチャードホールで『ヌーヴォーバ里祭』に出演。

篠田 文（フルート）

東京藝術大学音楽学部、リュエイユ・マルメゾン国立地方音楽院、パリ区立ラヴェル音楽院卒業。2001 年ピカルディ・ヨーロピアンコンクール 1 等受賞。フルートを、栗田敏恵、田中貫一、佐久間由美子、フィリップ・ピエルロ、ミシェル・モラゲス、ペノワ・フロマンジェの各氏に師事。現在、オーケストラや室内楽などの演奏活動を行う。浜松学芸高校芸術科非常勤講師。

田中 恵子（ピアノ）

京都市立芸術大学ピアノ専修卒。NHK・FM オーディションに合格し、FM「タベのリサイタル」等に出演。モーツァルトウム音楽院主催ザルツブルク夏期国際セミナーにて研修修了コンサートに選出されウイナーザールで演奏。チェコのウイハン弦楽四重奏団と共演。1998 年から数年にわたりイーストマン音楽学校 in 浜松で声楽の専属ピアニストを務める。浜松学芸高校芸術科ピアノ非常勤講師。日本演奏連盟会員。

魚路 恭子（作曲）



東京藝術大学・同大学院修了。浜松市在住。第 24 回日本交響楽団振興財団奨励賞、第 18 回名古屋文化振興賞、第 11 回芥川作曲賞ノミネート、第 2 回牧野由多可作曲コンクール大賞、第 18 回日本歌曲振興会日本歌曲コンクール最優秀賞（併せて株式会社全音楽譜出版社賞）、第 80 回日本音楽コンクール第 1 位（併せて岩谷賞、明治安田生命賞）など受賞多数。浜松学芸高等学校専任教諭、沖縄県立芸術大学専任助教などを経て現在はフリーの作曲家。作品はカワイ、プレーン、Hustle Copy、PANA MUSICA、Miela Harmonija 各社から出版されている。

中村 誠（企画・構成台本）



國學院大學大学院文学研究科博士課程修了。元浜松学芸高等学校校長。

学芸高校退職後、2009 年から「かずのね」（昼の読書・夜の読書・書道研究会など）主宰。また、「万葉の会」もあり、共に愉しんでいる。2012～2016 年ギャラリー喫茶「コキヤージュ」を共同経営、多くの展示や、コンサートを開いた。文芸同人誌「糸車」同人